

田岡俊次の  
国際情勢の  
行間を抉る

(9)



## 威嚇が効かないと攻撃しかないと トランプは拳を振り下ろすか

韓国を訪問したペニス・米副大統領は4月17日の記者会見で、「北朝鮮は（トランプ）大統領の決意や誇示し、北朝鮮に核放棄を迫っている。一方、北朝鮮は4月16日、日本海岸の新浦から弾道ミサイル発射実験を行ない、これは失敗したものとの、25日には元山付近で多数のロケット砲、長距離砲射撃訓練を行ない、ソウルを火の海にする戦力を誇示、ついに「チキンゲーム」の悪循環が始まった。

先月号の本欄で田岡氏は「米軍が北朝鮮を攻撃すれば1953年以来休戦状態の朝鮮戦争の再開と

ク」巡航ミサイル154発を搭載できる「ミシガン」（1万9000トン）が釜山に入港した。

Q：前号では、米軍は1994年に北朝鮮の原子炉などを航空攻撃しようとした。だが在韓米軍は、2万人、韓国軍に49万人の死傷者が出て、民間人の死者100万人以上、との損害見積を出し、米政府は攻撃を諦めた、とのお話を伺った。北朝鮮が核・ミサイルを持つ今日では、北朝鮮攻撃は一層困難、危険になつた、との説は「もつともだが、現実にトランプ政権は北

米原子力空母「カール・ヴィンソン」（9万3000トン）、約60機搭載）は4月23日からフィリピン東方海域で海上自衛隊の護衛艦「あしがら」（1万160トン）、同「さみだれ」（6300トン）と共同訓練を行なつた後、日本海に入つた。また、25日には戦略弾道ミサイル原潜を改造し「トマホー

タ」（9万3000トン）、約60機搭載）は4月23日からフィリピン東方海域で海上自衛隊の護衛艦「あしがら」（1万160トン）、同「さみだれ」（6300トン）と共同訓練を行なつた後、日本海に入つた。また、25日には戦略弾道ミサイル原潜を改造し「トマホー

タ」（9万3000トン）、約60機搭載）は4月23日からフィリピン東方海域で海上自衛隊の護衛艦「あしがら」（1万160トン）、同「さみだれ」（6300トン）と共同訓練を行なつた後、日本海に入つた。また、25日には戦略弾道ミサイル原潜を改造し「トマホー

タ」（9万3000トン）、約60機搭載）は4月23日からフィリピン東方海域で海上自衛隊の護衛艦「あしがら」（1万160トン）、同「さみだれ」（6300トン）と共同訓練を行なつた後、日本海に入つた。また、25日には戦略弾道ミサイル原潜を改造し「トマホー

タ」（9万3000トン）、約60機搭載）は4月23日からフィリピン東方海域で海上自衛隊の護衛艦「あしがら」（1万160トン）、同「さみだれ」（6300トン）と共同訓練を行なつた後、日本海に入つた。また、25日には戦略弾道ミサイル原潜を改造し「トマホー

配はありませんか。

田岡：そのとおりです。前回は日本、韓国のメディアが今にも米軍が攻撃するようなテーマを流していたから、「そんなに簡単にはやれない」と説明したが、威嚇戦略には相手が折れてくれないと、武力行使せざるを得なくなる、という問題がある。

典型的な例は1979年2月の中国

を強制労働に駆り立て、170万人、

人口の24%が死亡した。その多くは弾薬が大量にあったから、ベトナムはカンボジアの反乱軍を助けてカンボジアに出兵した。当時ベトナムはソ連から経済援助を受け、見返りにカントン湾の基地を貸すなどソ連寄りで、これに対し中国と米国はボル・ボトを支持していた。

中国はベトナム国境に20数個師団、約40万人の大軍を展開し、ベトナムを威嚇した。ベトナムが中国の侵攻に備えてカンボジアから兵力を引き、

トナム軍から接収したりした武器、

人口の24%が死亡した。その多くは弾薬が大量にあったから、ベトナムはソ連から経済援助を受け、見返りにカントン湾の基地を貸すなどソ連寄りで、これに対し中国と米国はボル・ボトを支持していた。

SS-4を配備、米国東部を狙う核抑止力にしようとした。これに対し米

国は軍艦183隻でキューバを封鎖、日本を含む世界各地の米軍は、核戦争に備えて最高レベルの待機態勢に入りました。



1962年のキューバ危機で、ソ連の貨物船を警戒する米軍の哨戒機

中越国境に再展開することを狙つた。だが戦争に慣れたベトナムは動じず、中国に対する防備は正規軍3個師団（約3万人）と地方軍（予備役民兵）約7万人に任せ、カンボジア平定を進めた。

威嚇を無視された中国は挙げた拳を振り下ろさざるを得なくなり、鄧小平副総理が訪米して協議の後、中國軍は国境全域でベトナムに侵攻した。ベトナムは米国との戦争終了6年後、南北統一から3年後だから、米軍との9年間の激戦で勝った歴戦の兵士は退役して予備役の民兵となつていた。

ベトナム戦争で使い残したり、南ベトナム軍から接収したりした武器、人口の24%が死亡した。その多くは弾薬が大量にあったから、ベトナムはソ連から経済援助を受け、見返りにカントン湾の基地を貸すなどソ連寄りで、これに対し中国と米国はボル・ボトを支持していた。

SS-4を配備、米国東部を狙う核抑止力にしようとした。これに対し米国は軍艦183隻でキューバを封鎖、日本を含む世界各地の米軍は、核戦争に備えて最高レベルの待機態勢に入りました。

典型的な例は1979年2月の中国のベトナム侵攻です。カンボジアのボル・ボト政権は知識層、都市住民

中国はベトナム国境に20数個師団、約40万人の大軍を展開し、ベトナムを威嚇した。ベトナムが中国の侵攻に備えてカンボジアから兵力を引き、

中越国境に再展開することを狙つた。だが戦争に慣れたベトナムは動じず、中国に対する防備は正規軍3個師団（約3万人）と地方軍（予備役民兵）約7万人に任せ、カンボジア平定を進めた。

威嚇を無視された中国は挙げた拳を振り下ろさざるを得なくなり、鄧小平副総理が訪米して協議の後、中國軍は国境全域でベトナムに侵攻した。ベトナムは米国との戦争終了6年後、南北統一から3年後だから、米軍との9年間の激戦で勝った歴戦の兵士は退役して予備役の民兵となつていた。

ベトナム戦争で使い残したり、南ベトナム軍から接収したりした武器、人口の24%が死亡した。その多くは弾薬が大量にあったから、ベトナムはソ連から経済援助を受け、見返りにカントン湾の基地を貸すなどソ連寄りで、これに対し中国と米国はボル・ボトを支持していた。

SS-4を配備、米国東部を狙う核抑止力にしようとした。これに対し米国は軍艦183隻でキューバを封鎖、日本を含む世界各地の米軍は、核戦争に備えて最高レベルの待機態勢に入りました。

### 大物政治家同士の裏取引で核戦争を寸前で回避の米ソ

Q：威嚇とか「牽制」が効いて、戦争にならずに相手が屈した例はありますかね。

田岡：よく言われる例は1962年のキューバ・ミサイル危機です。キューバは1961年CIA（米中央情報局）が組織したキューバからの亡命物1700人の部隊がピッグス湾に上陸したのを迎撃し全滅させた。大恥をかいた米国は正規軍によるキューバ制圧を企図したから、カストロ

首相はソ連に救援を求めた。ソ連はこれ幸いとキューバに中距離ミサイル

のか心配です

好戦的になりかねないシビリアン・コントロールの怖さ

1979年の中越紛争では中国側が大損害を被った

Q・米軍人は1994年、核施設に「外科手術的攻撃」を加えるのにも慎重でした。今回やれば北朝鮮は自暴自棄になり核ミサイルも発射しかねない。移動式のミサイルの位置を精密に掴むことは人工衛星でも困難。総てをほぼ同時に壊すのは無理でしょう。ソウルから40km程の停戦ラインの北側に築

論者のラムズズ・エルド国防長官やブッシュ大統領（息子）の怒りを買い、早期退役になりました。だがその後、任を国防長官が指名しようとしても他の将軍達は次々と口実を構えて断り、米陸軍はイラク戦争の初期の約3カ月、トップ不在で戦う珍事態になつた。これは無理な戦争を強いるネオコン政治家に対する将軍達のせめてもの抵抗だったのでしよう。結果はシンセキ大将の見通しどおりになり、米国は極度の財政危機に陥りました。



戦的な軍人を制御する」という観念は常に正しいわけではありません。

一方、視野の狭い軍人が組織の勢力を拡大や昇進、予算獲得などを狙つて結局国を戦争に引き込む結果になることもあるから、軍人に全てを任せることも危険です。

地圖一  
五十二

らトルコに配備していた中距離ミサイル「ジユビター」を僅か5年後の1965年に撤去した。「裏交渉ではこれが交換条件だった」とも言われますが、だが、当時米国では弾道ミサイル「ホーラリス」搭載の原潜が続々就役しつつあり「ジユビター」のトルコ配備はほぼ不要になっていた。この事件が落着したのは威嚇と同時に、米ソ双方の巧みな駆け引きの結果でした。

今回の米朝威嚇合戦は、ケネディー対フルシチヨフのような合理的な大

物同士の対決ではなく、トランプ氏  
対金正恩氏だから同じことがやれる

田岡…米国の軍人は今回も慎重だと思うが、大統領や政府が「やれ」と言えば従うしかありません。前号でも少し述べたが、2003年イラク戦争の開戦前、米陸軍参謀総長のエリック・シンゼキ大将（日系人）は、「イラク攻撃するなら數十万人の兵力を数年間駐屯させる必要があります」と米上院で答弁し、楽観的な主戦

政治家や外交官の方々が武力行使に積極的で、軍人、特に優秀な将校の方が慎重だった例は他にもいくつかあります、「シビアン・コントロール」で好

治家よりも、穩健な政治家を国民が選び、軍の要職には視野の広い人

材を育成し登用することが、安全保障上重要と考えます。

「—CBM開発中止」だけなら「米国第一」で日本は困る

Q …米国の威嚇戦略が効果を上げ  
北朝鮮が核放棄に同意すればそれ  
に越したことないが、そういうま  
く行きますかね。

田岡：米国が武力行使をやらかせ、「恐い警官」の役を演じる一方、中国は経済面で手綱を引いたり緩めたりして、北朝鮮を説得する「優しい警官」になる役割分担をしている気

「ソウルは火の海だ」。北朝鮮は火砲多数の射撃訓練で恫喝

配があります。それを背景に、トラ  
ンプ大統領が選挙中に言つた「米朝

ない立場になる公算は相当あると考  
えます。

リーズが2000発になれば1日で  
70%の除去が可能となる」としている

「首脳会談」で北朝鮮に核・ミサイルの放棄を求めることがあります。だが、仮に米国が最大限の譲歩をし、「北朝鮮を承認して国交を樹立、政府の存続を認め、経済援助もする

から核は廃棄しろ」と言ったとしても、北朝鮮が、今や存立の唯一の保障で

う。ある核を捨てる可能性は低いでしょう。

せいせいが「米国に届くICBMは造らない。今後核実験はしない」と

応じる程度ではないか、「米国第一主義」の観点からは、これでも一応成功と言えようが、中臣惟該、ミサイ

成功と言ふよシが 中距離核ミサイルの射程内に入っている日本や韓国は「我々はどうしてくれる」と米国に

不感を抱くし、米国内でも「無法者に褒美をやるのか」と非難が高

まるでしょつ。

ローランは日本に対する強硬姿勢を示し、物にして大衆の支持を得て来たから

生命を失う。あくまで核廃棄を求めるのではないか。北朝鮮がそれに

感じなければ、これまで威嚇して来た手前、そつと拳を下ろして立ち去ることはできず、攻撃をせざるを得

リーズが2000発になれば1日で70%の除去が可能となる」としている。だが1日でもソウルにロケット砲、長距離砲の発射が続くと天変です。結局は地上部隊が陣地地帯を制圧し、洞窟陣地を1つずつ潰すしかないのでと考えます。

移動式の弾道ミサイルの位置を知ることの困難さは前号で詳しく述べたが、仮に一部のミサイルを米軍が破壊できても、ほぼ同時に総てのミサイルを壊することはまず不可能で、北朝鮮は残ったミサイルを急いで発射するでしょう。「死なばもろとも」の心境で、日本の米軍基地だけでなく東京などを狙う可能性もあります。

幸い、日本が直接の戦禍を免れても風向きによっては日本に放射性降下物が届くだろうし、放射性物質が残留し、経済も壊滅状態になった韓国から、大量の難民が日本に押し寄せることも考えねばなりません。韓国への投資・融資が回収不能となるだけではなく、難民が帰国できるようになるために、復興の援助に莫大な寄与を迫られそうです。

威嚇あるいは牽制が武力行使に至らないよう、全力を傾ける以外に日本に手はないように思われます。

もし攻撃すれば、それは朝鮮戦争の休戦協定の破棄になるから戦争再開です。停戦ラインの北側、朝鮮半島を横断して全長240km余、奥行き約30kmの地下陣地地帯は朝鮮戦争中に主として中国軍が築き、米軍の猛烈な砲撃、爆撃に耐えた要塞です。北朝鮮はそこに2500門ものロケット砲や大砲を配備していると見られ、ソウル正面だけでも350門はあると言われています。トラックに積んだ直径240mm、22連装のロケット砲は射程60km、韓国の人団の3分の1以上が住むソウル首都圏が「火の海」になる危険性がある。これらはトンネル状の地下壕に隠れているから、精密な位置が分からず、巡航ミサイル原潜「ミシガン」が「トマホーク」154発を積んでいても目標の緯度、経度が特定されないと発射ができません。上空から見えない物体は航空攻撃でも破壊していく。

韓国は弾道ミサイル「玄武2A」(射程300km)、「玄武2B」(同500km)を約1700発近く持ち、「北側のロケット砲、長距離砲の70%を除去するのに従来は6日要したが、玄武2